

No. 1333

華やかに開幕

— 世界と日本のこども展 —

国際児童年を記念する「世界と日本のこども展」が7月31日、愛知県・愛知郡長久手町の愛知青少年公園で皇太子殿下ご夫妻をお迎えして盛大に行なわれました。国連が児童権利宣言を採択して20年。8月1日から一ヶ月間、三つのパビリオンでの展示や80を超す多彩な催し物が公開されます。式典に続き、皇太子殿下ご夫妻は大平首相、三原総理府総務長官らとともにパビリオンを回って、展示を興味深くご覧になりました。広大な会場では約150万の入場者が見込まれていますが、記念行事はその日によっていろいろと異なり、いつでも新しい楽しみに接することができるようです。大自然の中でこどもたちが作り出す友情の輪が大きく世界に広がってゆくことでしょう。

夏を競う

— 長崎ペーロン東京大会 —

太鼓やドラのはやしに合せ「ペーロンエッ」の掛声とともにかいをこぐ勇壮な海の男のドラマ、ペーロン競漕。本格的な夏を迎えた7月29日、長崎名物のペーロン競漕が東京隅田川で行われた。この催しは長崎市が市制90周年にあたる今年、観光宣伝として計画したもの。開会式のあと両岸に集まった約3,000人の見物人が見守るなか言問橋から上流に向けてスタート。ペーロンは長さ14メートルの角に32人の若者が乗り組みスピードを競う中国渡来の風習で「くんち」「ハタ揚げ」とともに長崎県を代表する観光行事のひとつ。岸边からの声援、太鼓とドラ、水をかく男たちの掛け声、これらが一体となって独特の熱気をつくる。それがペーロンの魅力だ。この日長崎県大会の上位7チーム400人が暑い東京の夏を競った。